

<h1>おおわし</h1>	新潟市立大鷲小学校 住所 新潟市南区東笠巻 1202
	電話 025-362-5431 ファックス 025-362-5554
	E-mail
	e607owashi01@city-niigata.ed.jp
	ホームページ
	http://www.owashi.niigata-city.ed.jp/

「月」

校長 柴澤明子

昨年、オーロラの写真がとてもきれいだったので購入したカレンダーには、「月の満ち欠け」も載っていました。月の満ち欠けは、あまり気にしていなかったのですが、「12月5日はスーパームーンを見ることができる」という話に、月のことはよく分からないけれどワクワクし、カレンダーを見てみると確かに「満月」と書いてありました。



その日は厚着をして、夜の8時ごろに空を見上げましたが、ぼんやりとした月しか見えず、あきらめて家に入りました。ところが、翌朝、子どもたちから夜10時にすごい月を見た！と聞いて、見逃してしまったんだとがっくり…。

それから何となく、朝、空を見上げて月を探すようになりました。いわゆる「有明の月」（夜明けの空に残っている月）です。1月の全校朝会で、子どもたちにこんな話をしました。

朝見える月は、「有明の月」と言います。平安時代に役人をしていた「坂上是則（さかのうえのこれのり）」という人が、朝見える月について、こんな歌を詠んでいます。

朝ぼらけ

有明の月とみるまでに
吉野の里にふれる白雪

坂上是則

夜が明けて空が少し明るくなるころ、まるで有明の月が照らしているのかと思うほど明るく、吉野の里に白雪が降り積もっていることよ。

今から1000年以上も前の人たちも、今、生きている私たちと同じように、月の美しさや雪の美しさに、同じように心動かされていたのだと思うと、何だか嬉しくなりますね。

今年もまた、同じカレンダーを購入しました。そして、カレンダーを見ていて当たり前のことですが、太陽に照らされている部分、私たちが月と言っている形は、一日として同じではないということに気付きました。月は、毎日、本当に気付かないくらい少しずつ変わります。でも、月だけではありません。私たちも毎日、少しずつ変わっていきます。大切なのは、どう変わるのかということです。

子どもたちに問い掛けました。「あなたたちは、どう変わっていきたいですか」と。令和8年の初めに、この一年、目標にする自分の姿に向かって、少しずつ変わっていく努力をする、また様々な方向から光が当たって月の形が変わるように、あなたたちも様々なことに挑戦し、自分の中で新たに輝くところを見付けるのもよいのではないかと、そう伝えました。

充実した1年であることを願っています。

【真剣な表情で 新春 全校書き初め大会！】

14日（水）の3・4限に全校書き初め大会を行いました。琴と尺八の先生から演奏をしていただいている中、体育館で書き初めをしました。「春の海」や「ピリ－ブ」などの曲を琴と尺八で奏でていて、子どもたちは、荘厳な雰囲気の中に新年の喜びを感じ、筆に力を込めていました。1・2年生も琴と尺八の演奏を聞いたのち、教室で「かきかた（硬筆）」に真剣に取り組みました。3～6年生は体育館で「習字（毛筆）」を行いました。どの子の表情にも、「良い字を書こう！」とする真剣さと緊張感がみなぎっていました。力作については、1月21日（水）から30日（金）まで1階掲示板及び各教室前廊下に展示します。ぜひ、学習参観の際にご覧ください。



【感謝の気持ちが広がった給食週間】

1月19日（月）～23日（金）は給食週間です。給食週間では、毎日おいしい給食を作ってくださっている栄養士さんや調理員さんへの「ありがとう」の気持ちを大切にする学習を行いました。児童朝会では、給食委員会が給食のはじまりや給食週間について発表し、楽しいクイズも行いました。また、全校で感謝の手紙を書き、思いを届けました。1・2年生は、永井センター長さんや内田栄養士さん、調理員の伊東さん、荒井さんを招待して一緒に給食を食べ、笑顔あふれる温かい時間となりました。



【8：10以降の来校時の対応についてのお願い】

校舎内の安全確保のため、8時10分以降は玄関を施錠します。遅れて登校した場合や御用のある方は、職員玄関のインターホンを押してください。職員が職員玄関で対応しますのでお待ちください。状況により教務室までお越しいただく場合があります。ご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。